

## 「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」

### 第6回フォローアップ調査

国立大学協会では、大学の国際化とグローバル人材育成の推進を図るため、2020年までに国立大学が達成すべき数値目標を設定した「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」（以下「教育の国際化目標」という。）を2013年3月に取りまとめました。

この数値目標の達成状況を確認するためのフォローアップ調査を、平成25年度から実施しておりますが、今回、第6回目のフォローアップ調査を実施いたしますので、ご多忙中のところ大変恐縮ですが、本調査へのご協力をお願いいたします。

なお、本調査結果は、各大学へ情報提供させていただくとともに、当協会の委員会、文部科学省等への要請のための資料として使用することがありますので、あらかじめご了承ください。

（※各設問ごとに、「教育の国際化目標」の対応項目を記載しています。）

#### ●回答方法

太枠の枠内に、ご入力ください。

ご入力いただく内容は、平成30年11月1日現在でお願いします。

ただし、それ以外の時点で、ご回答をお願いしているものもありますのでご注意ください。

〔 注意 シート・セルの変更は行わないでください。  
枠が小さい場合は文字サイズを小さくしてください。〕

大学名

### 1 外国人留学生について（「教育の国際化目標」4<達成目標>①⑤関係）

（1）貴大学の外国人留学生数をご入力ください。

ここでいう「外国人留学生」は、「出入国管理及び難民認定法」別表第1に定める「留学」の在留資格により、我が国の大学（大学院を含む）等において教育を受ける外国人学生を指します。

※非正規生（研究生等）も加えた数をご入力ください。

※平成30年11月1日の数値の入力が難しい場合は、国大協事務局までご連絡ください。

	平成30年 5月1日現在			平成30年 11月1日現在		
	外国人 留学生 数	学生数 (外国人 留学生含 む)	(%)	外国人 留学生 数	学生数 (外国人 留学生含 む)	(%)
学部						
大学院						
全体	0	0		0	0	

(2) 貴大学の外国人留学生受入れ数の目標値（割合）をご入力ください。

※目標値を定めていない場合、あるいは、学部・大学院を分けて目標を定めていない場合等、目標値の入力ができない場合は、その枠に「なし」とご入力ください。

	目標値 (%)	目標値 (人数)
学部		
大学院		
全体		

ご入力いただいた目標値は、何年度までに達成見込みの目標ですか。

(目標値を設定した年度ではなく、何年度までに達成見込みの目標値であるかという質問です。)

西暦  年度

## 2 日本人学生の海外留学について (「教育の国際化目標」4<達成目標>②⑤関係)

(1) 貴大学の日本人学生の海外留学者数をご入力ください。

この質問は、日本学生支援機構が実施した「平成30年度留学生調査」の【4】平成29年度日本人学生留学状況調査に準拠しています。以下のURLの記入要領のP29をご覧ください。

[https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl\\_student\\_youryo/\\_icsFiles/afieldfile/2018/06/27/guide30.pdf](https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_youryo/_icsFiles/afieldfile/2018/06/27/guide30.pdf)

- ・対象期間は、平成29年4月1日～平成30年3月31日に留学を開始したものです。
- ・対象は、日本人学生です。科目等履修生等、非正規の日本人学生も含まれます。
- ・「協定等に基づかない」留学についても、貴大学が把握している日本人学生について、記入をお願いします。

	2週間未満	2週間以上1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上1年6か月未満	1年6か月以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
学部									
大学院									
全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 貴大学の日本人学生の海外留学者数の目標値（割合）をご入力ください。

※目標値を定めていない場合、あるいは、学部・大学院を分けて目標を定めていない場合等、目標値の入力ができない場合は、その枠に「なし」とご入力ください。

※短期、長期別に分けている場合等、下の枠で記入しづらい場合は、以下の自由記述欄に記載してください。

	目標値 (%)
学部	
大学院	
全体	

ご入力いただいた目標値は、何年度までに達成見込みの目標ですか。

(目標値を設定した年度ではなく、何年度までに達成見込みの目標値であるかという質問です。)

西暦  年度

【自由記述】

### 3 外国人教員について（「教育の国際化目標」4<達成目標>③⑤関係）

(1) 貴大学の外国人教員数をご入力ください。

ここでいう、「本務者」と「兼務者」の区別は、学校基本調査の定義を引用しています。非常勤講師として発令されている方は兼務者とします。また、本務・兼務の区別は、原則として辞令面によります。辞令面で区別できない場合は、俸給を支給されている方を本務とし、それ以外は兼務とします。

※平成30年11月1日の数値の入力が難しい場合は、国大協事務局までご連絡ください。

	平成30年 5月1日現在			平成30年 11月1日現在		
	外国人 教員数	教員数 (外国人 教員含 む)	(%)	外国人 教員数	教員数 (外国人 教員含 む)	(%)
本務者						
兼務者						

(2) 貴大学の外国人教員の割合の目標値（%）をご入力ください。

※目標値を定めていない場合、あるいは、本務者と兼務者を分けて目標を定めていない場合など、目標値の入力ができない場合は、それぞれの枠に「なし」とご入力ください。

外国人教員 の割合 (%)	目標値 (%)
本務者	
兼務者	
全体	

ご入力いただいた目標値は、何年度までに達成見込みの目標ですか。

(目標値を設定した年度ではなく、何年度までに達成見込みの目標値であるかという質問です。)

西暦  年度

#### 4 英語での授業実施科目について（「教育の国際化目標」4<達成目標>④関係）

（1）英語による授業実施科目数をご入力ください。

英語による授業科目数の数え方について

- 全ての授業を英語により実施している場合、これを1つの「授業科目」としてカウントします。
- 語学としての授業科目は除きます。
- 同一授業科目を複数セッション開講している場合、複数授業科目としてカウントします。

【例】

- 「統計熱力学」を開講。15回の授業のうち、2回を海外からのゲスト教員により、英語で授業を行った場合は、全てを英語で授業していないため、カウントしない。
- 「量子力学Ⅰ」を6セッション開講、うち2セッションは英語、4セッションは日本語で実施した場合、2授業科目としてカウント。

学部  授業科目  
 大学院  授業科目

#### 5 その他

（1）英語による授業のみで学位が取得できるコース等の設置

（「教育の国際化目標」4<達成目標>①④、5【4】関係）

※一部で実施している場合を含みます。

①留学生のみに限定されているコース等の設置

1 設置している      2 設置していない

学部   
 大学院

②留学生のみに限定されていないコース等の設置

1 設置している      2 設置していない

学部   
 大学院

（2）外国人学生向けの特別なプログラム等の設置（外国人学生向け）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>①④、5【2】【4】関係）

1 設置している      2 設置していない

期間	1ヶ月未満		1ヶ月以上 6ヶ月未満		6ヶ月以上	
	日本語	英語	日本語	英語	日本語	英語
主な 使用言 語						
学部	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
大学院	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【参考】世界に対して、広く募集している短期留学プログラム等の設置

1 設置している      2 設置していない

学部   
 大学院

※募集の対象を協定校や交流実績のある大学に絞ったり、教職員の国際的なネットワークによる募集ではなく、例えばHP等で応募者を広く世界から募っているプログラム

(3) 4月以外の入学時期の導入（例えば、秋入学など。一部で実施している場合を含む）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>①、5【2】【4】関係）

1導入している      2導入する予定      3導入していない      学部  (    年 )  
大学院  (    年 )

※「2」を選択した場合は、カッコ内に開始予定の年度と時期をご記入ください。

（回答例：2019年秋）

(4) -① 4学期制の導入（一部で実施している場合を含む）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>②、5【2】【5】関係）

1導入している      2導入する予定      3導入していない      学部  (    年 )  
大学院  (    年 )

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をご記入ください。

（回答例：2019年秋）

(4) -② 柔軟な学事暦の導入（（4）-①を除く。一部で実施している場合を含む。）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>②、5【2】【5】関係）

1導入している      2導入する予定      3導入していない      学部  (    年 )  
大学院  (    年 )

※「2」を選択した場合は、右記カッコ内に予定の年度と時期をご記入ください。

（回答例：2019年秋）

※「1」又は「2」を選択した場合は、下記カッコ内に具体的な内容をご記入ください。

(5) ダブルディグリープログラムの実施（一部で実施している場合を含む）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>①②④、5【2】【4】【5】関係）

1実施している      2実施する予定      3実施していない      学部  (    年 )  
大学院  (    年 )

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2019年秋）

(6) ジョイントディグリープログラムの実施（一部で実施予定である場合を含む）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>①②④、5【2】【4】【5】関係）

1実施している      2実施する予定      3実施予定はない      学部  (    年 )  
大学院  (    年 )

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2019年秋）

(7) 国際バカロレア入試の導入（一部で実施している場合を含む）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>①、5【2】関係）

1導入している      2導入する予定      3導入していない       (    年 )

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2019年秋）

(8) 留学生宿舎の整備（「教育の国際化目標」4<達成目標>①、5【4】関係）

① 貴大学の所有宿舎（国際交流会館等）

1整備している      2整備する予定      3整備していない

（年）

※「1」又は「2」を選択した場合は、宿舎の整備戸数（室数）をお知らせください。

戸数（室数）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2019年秋）

② URや民間企業等との法人契約による宿舎の借上げ

1整備している      2整備する予定      3整備していない

（年）

※「1」又は「2」を選択した場合は、宿舎の整備戸数（室数）をお知らせください。

戸数（室数）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2019年秋）

③ 自治体、民間企業等所有留学生宿舎で貴大学学生用の専用居室の割当て

1整備している      2整備する予定      3整備していない

（年）

※「1」又は「2」を選択した場合は、宿舎の整備戸数（室数）をお知らせください。

戸数（室数）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2019年秋）

(9) 寄附等による大学独自の奨学金制度の導入

① 外国人留学生向け奨学金制度の導入（「教育の国際化目標」4<達成目標>①、5【4】）

1導入している      2導入する予定      3導入していない

（年）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2019年秋）

② 日本人学生向け海外留学奨学金制度の導入（「教育の国際化目標」4<達成目標>②、5【5】）

1導入している      2導入する予定      3導入していない

（年）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2019年秋）

(10) 留学先大学で履修した科目に関する貴大学での単位認定の実施

（「教育の国際化目標」4<達成目標>②、5【2】【5】）

1実施している      2実施する予定      3実施していない

（年）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2019年秋）

(11) 大学として支援している、留学生の在留管理に係る手続き（証明書の発行等）について

①入学時～卒業後（就職活動含む）における手続きについて、対応に苦慮していること等がありましたらご入力ください。（自由記述）

②国等に要望したいことがあればご入力ください。（自由記述）

## 6 自由記述（教育の国際化に関する事柄）

※複数の事柄がある場合は、箇条書きをする等、テーマ毎に分けて記載してください。

※調査結果の取りまとめ及び活用のため、差し支えなければ、どの職位の方のご意見なのか、ご教示いただけたら幸いです。（例えば、理事、課長、係員など。）

【記載例】国際バカロレア入試を導入するにあたり、どのような準備が必要なのか情報が不足している。（係長）

①対応に苦慮していること等がありましたらご入力ください。（自由記述）

②他大学との情報交換を行いたいことがありましたらご入力ください。（自由記述）

③国等に要望したいことがあればご入力ください。（自由記述）

ご担当者名（フリガナ）

ご担当部署名

電話番号

E-mail

ご協力ありがとうございました。

【回答方法】 Excelファイルのまま、メールにて返信お願いします。  
【回答先】 国立大学協会 企画部 小早川、水野、高橋、神杉  
chosa@janu.jp  
【回答期限】 平成30年12月7日（金）17時